

にしお 市議会だより

西尾市のこんなことが決まりました!

～あなたの気づきが明日のNISHIOをつくる～

2022
5
月号

No.146

【編集・発行】
西尾市議会事務局
〒445-8501
愛知県西尾市寄住町下田22
TEL:0563-56-2111(代表)



3月定例会を2月22日から3月22日まで29日間の会期で開催しました。

2月22日に市長が施政方針演説を行い、24日には、会派を代表して4人の議員が施政方針演説に対して代表質問をしました。

2月25日、28日、3月1日には、20人の議員が市政について一般質問をしました。

3月2日には、令和4年度予算について質疑が行われました。

議会や各種会議において、マスクの着用や3密対策を徹底し、感染拡大防止に努めています。

CONTENTS

代表質問……………01
一般質問……………05
予算審査……………15

審議結果……………17
編集室……………18
お知らせ……………19

にしお市議会だよりは
西尾市役所ホームページ
でも見るができます。



施政方針に対する代表質問 Q & A



新政令和
稲垣 一夫 議員

令和4年度予算編成と最重点施策は

Q 「人が輝き、まちが躍動する、共生・共創のまちづくり」のスローガんに込められた思いや背景は。

A 令和4年度は「総合計画」「都市計画マスタープラン」「スポーツまちづくりビジョン2040」などの策定をはじめ「中心市街地活性化基本計画」の策定に着手する。そうした中で、一人ひとりをかけがえのない存在として尊重し、誰もが自分に居場所があると感じ、輝くことのできる共生社会の実現。官民連携を積極的に進め、質の高い市民サービスを提供し、未来に夢や希望を持てる、ワクワクする西尾市を創生していきたい。

活力と魅力あふれる産業づくりは

Q 「駿馬瀬戸地区工業用地」の企業進出にともなう今後の計画は。



詳細は
スマホで
チェック!



A 令和5年度の造成工事を完了に向けて、アクセス道路の整備を進めるとともに、周辺道路の渋滞対策として、新たな市道整備のための測量・設計を進めていく。

Q 名鉄上横須賀駅周辺整備を進めるとのことだが、具体的取組内容は。

A 駅の東側にバスの発着が可能となる交通広場等の整備について、検討を進める。広場等の整備に併せ、駅東側に新たな改札口の設置を計画すると共に、広場等に接続する道路整備を検討していく。

Q J A 西三河「憩の農園」のリニューアルにより、都市圏から流入を創出できる公共交通や環境整備は。

A 公共交通である名鉄東部交通バス一色線の憩の農園への乗り入れの協議と周辺道路市道斉藤市子6号線の整備に取り組む。

利便性と快適性を高める基盤づくりは

Q 都市計画マスタープランの住居系開発計画区域の位置づけは。

A 駿馬瀬戸地区工業用地への企業進出に伴う人口増加を見込み、新拠点とする名鉄上横須賀駅周辺において、新たな住宅地の位置づけを検討している。

Q 佐久島航路新造船の規模等はどれほどか。

A 20年を経過した「はまかせ」の代替船の建造を令和5年度に計画しており、令和4年度は船舶の設計業務を予定している。

地域を支える文化と人を育む環境づくりは

Q 総合体育館は、観客席を700席増やすとのことだが、新たな大会・イベントの誘致策はどのようか。

A 増設後は、メインアリーナの観客席数が最大約3100席程度となる。令和8年度開催予定のアジア大会ボクシング会場として内定している。市民にプロスポーツ観戦を肌で感じていただくため、バレーボールのVリーグだけでなく、卓球のTリーグなどのトップレベルの大会をはじめ、大相撲などイベントの誘致に向けて、関係団体に積極

的にPRを行う。

Q 福地南部保育園の建て替え計画は。

A 令和7年度から3歳未満児の保護者の就労時間の基準が緩和されることにより、保育需要の増加が見込まれるため、保育室の増設が必要となる。令和4年度に基本設計、5年度に実施設計、6年度に新園舎建設、7年度に開園予定である。

Q コロナ禍の中、学級閉鎖等が起きている。家庭学習ができるよう環境整備を前倒しして取り組まないか。

A 学級閉鎖等で登校できない児童・生徒に対しては、学習用タブレットを持ち帰り、オンラインによる朝の会や学習課題の配信等による学習保障に努めている。インターネット環境の無い家庭については、特別教室の開放等で対応している。令和4年度から予定していた、Wi-Fiルーターの貸出を前倒しして、3月から実施できるよう準備に努める。



Q にしお特別支援学校の開校に併せ、連携を図っていくとのことだが、具体的取組は。

A にしお特別支援学校との連携として、1つ目は、本市の教員と



施政方針に対する代表質問 Q & A

お特別支援学校との教員の人事交流。2つ目は、にしお特別支援学校から、助言者として教員を招へいし、指導検討会やケース会議を開催し、本市の教職員の力量向上を図る。3つ目は、市内中学校区で開催する特別支援学級発表会に、にしお特別支援学校に在籍する児童・生徒を招待し、児童・生徒の交流を図る。

安心できる暮らしを支える健康・福祉のまちづくりは

Q ワクチンの3回目の予防接種が加速するなど感染対策に取り組んでいるが、現状の接種率と接種率向上の具体的取組は。

A 3回目の接種率は、2月14日時点で全人口に対して、10・75%である。接種率向上策として、3回目の接種間隔を6か月に前倒しを進め、5か月から5か月半経過した方へ接種券を早期に発送する。

安全とつながるおびのける環境づくりは

Q 実際に家庭でごみ出しを行う方々を中心に「仮称」ごみ問題を考える市民会議」を立ち上げるとのことだが、市民の理解を得る狙いとは

具体的方策はどのようなか。

A これまで、行政主導で各種の施策を進めてきたが、実際にごみ分別や排出を行うのは市民の皆さんである。市民と行政が連携して「仮称」ごみ問題を考える市民会議」を立ち上げ、廃棄物問題に取り組んでいく。

市民と行政が共に考え、行動するまちづくりは

Q 第8次総合計画は、市民一人ひとりがワクワクできるまちづくりを目指すところがあるが、総合計画の特徴的取組はどのようなか。

A 1点目は、メインタイトルを市の最上位計画としてイメージしやすい名称とし、サブタイトルを「第8次西尾市総合計画」とすること。2点目は、20年後の将来像をイメージし、そこから逆算して必要な施策を検討するバックカスティング思考を採用したこと。3点目は、前期計画期間内で重点的に取組む分野横断型施策を重点施策として位置づけること。4点目は、全職員から施策横断型事業のアイデアを募集すること。5点目は、SDGsの17ゴールと各施策との関連性を明示すること。これらの取組を通じ、市民に親しみを持っていたただける総合計画を策定していく。



新しい風
中根 志信 議員

第8次総合計画策定に向け、10年先を見据えた西尾市のあるべき姿は

Q 第8次総合計画を策定する上で、市長が最も重要視しているのは何か。10年後の2032年がどんな時代と想像し、西尾市が果たすべき役割は何か。

A 重要視するのは、コンサルタントへの丸投げではなく、市民の声を聴きながら職員が自分の頭で考えて反映すること。10年後は、デジタル化や環境面での技術革新が進み、「持続性」をキーワードに、より便利で快適な生活が実現していると思う。西尾市の発展を支えてきた自動車業界では、EV化の進展で厳しい競争環境も予測されるが、西尾市を含む西三河地域が日本や世界の経済を牽引することを期待している。大都市からの交通アクセスの面で不利であるが、そこは日常から離れたひと時を過ごす場として強みにもなる。力を入れてきた観光面は、他の自治体に比べて大きなポテンシャルを持つ



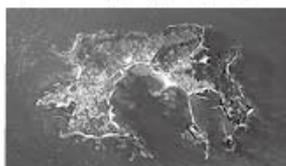
詳細は
スマホで
チェック!



ている。加えてテレワークやワーケーションによる働き方改革が社会全体で進展している中、定住促進の面でも大きな追い風となる。ないものねだりで他の自治体の真似をしようとするのではなく、あるものを活かしてオンラインワンの魅力を磨き上げていく姿勢で、柔軟な感性を持つてワクワクするまちづくりを進める。

Q 2015年のパリ協定を受け、日本は2050年までにCO₂排出ゼロを目標に、カーボンニュートラルの実現を目指している。市長に問う。西尾市が表明した「ゼロカーボンシティ」の推進で、佐久島で使う電力は佐久島で賄えるよう国や県の助成を模索し、モデル的に取り組まなにか。また、佐久島の原風景を活かしたまま、IT関連企業のサテライトオフィスの誘致を積極的に進めないか。

A 太陽光発電や風力発電等の導入で、実証実験の場として協力依頼があれば、

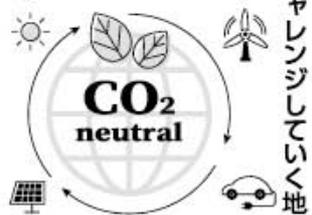


三河湾に浮かぶ自然豊かな佐久島

施政方針に対する代表質問 Q&A

前向きに検討。実証実験のデータを基に、再生可能エネルギーで自立できる地域を目指して取り組んでいきたい。島の原風景や豊かな自然を守りながら、ＩＴ関連企業のサテライトオフィスの誘致に向けて、一層積極的にPRしていく。

Q カーボンニュートラルの実現で、この地域の先人が築き上げてきた「ものづくり」の技術力を活かし、新たな産業にチャレンジしていく地元企業を応援する体制づくりと、情報収集機能の向上が最優先と考えるが、どうか。



A 昨年4月に発足した「モノづくり経営研究会」を引き続き支援し、企業間の連携強化だけでなく、最新の情報等を共有する機会をつくり、新たな産業にチャレンジする企業を支援していきたい。

Q 行財政改革の一環で、市長は全体業務の見える化をするため、民間企業を取り入れているシステム等の導入を考えないか。また、業務日誌を取り入れる検討は。

A 生産性を意識した働き方は行政

でも民間でも必要な意識で、見える化は一つの効果的な手法だと思つ。近隣市町の首長、懇意にしている改革派の首長との意見交換の中で有効性の調査を続けていきたい。

生涯学習センター（仮称）の整備構想は

Q 生涯学習センター（仮称）の設計業務に決定しているコンペ方式の応募で、競争原理が働かない1社だけの場合、再募集をするのか。

A 設計案の応募が1点だけだった場合は、応募者が増えるように実施要領を見直し、再度の公募を行う。

Q 総事業費20億円という大規模事業にも関わらず、議会に対する説明があまりにも突然過ぎないか。今後の進め方は。

A 緊急的に企画立案したため、議会説明のタイミングが突然的印象は否めないが、必要な政策形成プロセスを経た上で、速やかに議会報告したのが1月で、ご理解をお願いしたい。計画の進行は、今後も市民や議会に事業の進捗状況を適宜、的確に報告し、理解をいただきながら、着実に進めていきたい。



西尾みらい
磯部 雅弘 議員

令和4年度予算編成は

Q ふるさと納税の促進による見込みと収支をどう考えるか。

A 令和4年度は、寄附金額15億円、返礼品や配送料をはじめとする必要経費は約7億5千万円を見込んでいます。そこから、市民が他自治体へふるさと納税にかかる市民税減収分を差し引いた収支は、プラスになると見込んでいる。

Q ふるさと納税が、今後増えていくと想定するが、専門組織を立ち上げ、推進体制を強化すべきではないか。

A 寄附金額の増額に伴い、事務負担は増える。民間に任せるとできる業務のアウトソーシングを進めていくが、それでも増え続けていくようなら、専門のセクションを設置することも検討していく。

「活力と魅力あふれる産業づくり」の取組は

Q カーボンニュートラルにおいて排出削減だけでなく、CO₂吸収源対策もあると思うがいかがか。

A 森林環境贈与税は、CO₂吸収源対策が目的の1つであり、本市ではその目的に沿って、木材利用促進を実施している。木材利用は山間部の森林整備を推進することであり、木材そのものが炭素の貯蔵庫とされているため、木材を使った建築物や備品を整備することも対策の1つである。今後は、CO₂吸収源対策として活用できる森林整備の在り方についても調査研究していく。

温水プールの検証結果は

Q 温水プールを利用した小学校の水泳授業について、その検証結果をどう捉えているか。

A まだ、結果は出ていないが、学校からは好評の意見を聞いている。

Q 公設のプールを整備する場合の適地の考え方はどのようなか。

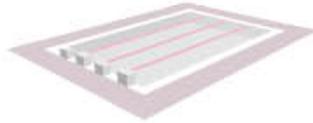


詳細は
スマホで
チェック!



施政方針に対する代表質問 Q & A

A 学校授業で利用する温水プールについては、子どもたちの送迎に要する時間が短くなること
が望まれるので、既設の
温水プールの配置を踏ま
えた地理的バランスに優
れた場所が好ましい。ま
た、市が所有している土
地が望ましい。



Q 一部新聞報道で、旧一色支所跡地に令和8年度新設、25m6コースと載ったが市の見解は。

A 特に令和8年度まででなければならぬものではなく、小学校の水泳授業を考えた場合に最低限必要な規模であり、低学年児童への配慮も必要である。プール全体計画策定の中で検討していく。

安心できる暮らしを支える健康・福祉のまちづくりは

Q 市民病院の医師確保に明るい兆しが見え始めたとは、どのようか。

A 令和3年4月の異動で、研修医3人を含む常勤医師数が7人増となり、今まで当地域に欠けていた医療の提供ができるようになったことが明るい兆しである。



自民隆盛会
松崎 隆治 議員

予算編成は

Q 新型コロナウイルス感染症対策のための緊急的な予算措置を柔軟に対応できるのか。

A 基金の積立額を担保するなど、柔軟に対応していく必要がある。

Q 西尾市公式LINEの強みを生かして情報発信を充実させていかないか。

A 防災無線を西尾市公式LINEアカウントとシステマ的に連携して再発信できるよう検討している。

活力と魅力あふれる産業づくりは

Q 都市計画マスタープランでは名鉄上横須賀駅を中心としたエリアを新拠点と位置付ける予定だが、先進的なエリアにしていく検討をすべきだと思ふが、考えはどのようか。

A 駅周辺地域において、面整備による市街地の拡大を考えている。一



詳細は
スマホで
チェック!



CT技術等の新技術の活用は、先進事例を参考に可能であれば取り入れていく。

Q ふるさと応援寄附金について、リピーターを増やすためプレミアムになるような新たな付加価値をつけることを検討しないか。また、企業版ふるさと納税を獲得するため、どのように進めていくのか。

A プレミアムを感じられる取組については調査研究を行う。企業版ふるさと納税のアプローチ不足は認識している。企業訪問やポータルサイト導入の検討など寄附金獲得の機運を醸成していく。

利便性と快適性を高める基盤づくりは

Q 市街化区域内の都市機能誘導が市の発展のために重要と考えるが、立地適正化計画とあわせて、どのように都市計画マスタープランに反映させるのか。

A 持続可能な都市づくりを進めるため、居住誘導区域と都市機能誘導

区域を定め、コンパクトな市街地形成と地域交通網の充実を図る。また、防災まちづくりとの連携により、防災コンパクトシティ等を進める計画とし、都市計画マスタープランに反映させていく予定である。

地域を支える文化と人を育む環境づくりは

Q 保育ニーズへの対応について、定員増加や認定こども園化をどのように進めるのか。

A にしのまち保育園や福地北部保育園で定員を増加した。今後もK-1 RARA保育園等で増加予定である。認定こども園化についても、(仮称)吉田みやこ認定こども園など計画的に行っていく。

Q 子どもの遊び場の設置について、令和4年度は何を行うのか。

A 令和9年度供用開始に向けて、先進地視察や室内全体の構想などを検討していく。

その他の質問

・安心できる暮らしを支える健康・福祉のまちづくりについて
・安全とつながるおおいのある環境づくりについて

一般質問 Q & A



新政令和
鈴木 正章
議員

自転車安全対策の取組は

Q 県条例で、令和3年10月から、自転車ヘルメット着用の努力義務化に対し、市の取組は。

A 市民に広報紙、市ホームページ、西尾市公式LINEに掲載し、周知している。また、街頭活動、交通教室で着用啓発をしている。

Q 県条例で、仕事で自転車利用時に、ヘルメット着用の努力義務化に対し、市の取組は。

A 市・学校では公用自転車用ヘルメットを用意し、利用時の着用を通知している。

Q 県条例で、学校長は自転車通学者に、ヘルメット着用促進に努めるとしている。取組はどのようなか。

A 各家庭に周知チラシを配布。交通安全教室や登下校時の交通立哨の際に、ヘルメット着用の指導をしている。

Q 市内の学校で着用されているヘルメットの品質は現状どのようなか。



詳細は
スマホで
チェック!



A 認証品・未承認品の利用となっている。未承認品の安全性は、認証品と比べ、安全性が劣るわけではなく、県より回答を受けている。

Q 当市の自転車ヘルメット補助事業の対象者および個数の見直しを考えたか。

A 当補助事業は、県との協調補助事業で、3年間の実施。市の補助事業の延長や対象者・個数の見直し等は、補助制度の期限である令和6年度に向けて検討する。

Q 公用自転車の損害賠償保険等加入義務化の取組は。

A 毎年点検整備を受け、TSMマークを貼付し、付帯の保険に加入している。

Q 学校での、自転車通学者の保険加入の確認方法は。

A 自転車通学者の実施校では、保護者への文書確認や、懇談会等で口頭にて確認している。



西尾みらい
黒辺 一彦
議員

公園の適切な維持管理に向けたPark・PFIの活用

Q 策定中の緑の基本計画の内容、スケジュールはどのようなか。

A 緑地の保全や緑化目標、推進のための施策や都市公園等の施設配置や整備・管理等、市の緑のまちづくりの指針となる計画である。策定委員会で審議を行い、パブリックコメント後、令和4年度中に計画の公表を行う予定である。

Q 都市公園維持管理手法の1つであるPark・PFIの活用の可能性をどう考えるか。また、緑の基本計画に「Park・PFIの活用」という文言を明記することは可能か。

A 市内の都市公園における現時点での活用の可能性は低いと考える。緑の基本計画に「Park・PFIの活用」を明記できるよう検討していく。

DXを活かした自治体運営を目指して

Q ^{※1}DXが推進される中、^{※2}RPAやAI技術を活用した自治体運営として、本市での対応はどのようなか。

A DX基本方針の策定や推進本部を立ち上げ取り組んでいる。本年度までに32業務でRPAを適用した。今後、未導入の部署へ横展開を図り、全庁で良い導入事例を共有し活用を推進していく。

Q AIチャットボット機能を成長させるために市民ができることは何か。

A 質問データを蓄積するためにAIチャットボットを多く利用してほしい。

Q 西尾市公式LINEを活かした24時間通報受付の可能性についてどのように考えるか。

A 市民の方が道路や公園の異常を発見する機会は日常的にある。24時間通報が可能になれば、効果があると思われる。今後、導入の可能性を検討していく。



詳細は
スマホで
チェック!



※1「DX」(デジタルトランスフォーメーション)とは…デジタル技術によって、人々の生活をよりよいものに改善すること。
※2「RPA」(ロボティック・プロセス・オートメーション)とは…ロボットによって業務を自動化させるシステムのこと。

一般質問 Q & A



新政令和
渡辺

信行
議員



詳細は
スマホで
チェック!



不足している消防団員の確保

Q 定数に対して27%欠員している現状と対策は。

A 地域防災力を確保する上で大きな課題である。影響として、少ない人員で出動や訓練を行わなければならなくなり、団員個々の負担が増加している。改善としては、消防操法大会出場や訓練の負担を軽減するなどしていく。

Q 団員を一人でも多く確保するための対策は。

A すべての市民が消防団を認知し、必要性を感じてもらうこと。そのために活動や活躍の紹介、訓練等の体験、PR等する。また、団員の地位向上や処遇改善を図り、加入促進に努めていく。

通学路の危険箇所対策

Q 調査結果と整備状況は。

A 対策が必要と判断される箇所は

路面標示や防護柵設置などのハード対策が64か所、交通立哨や安全教育などソフト対策にて対応可能な箇所が55か所である。ハード対策のうち道路管理者として西尾市が対策を講じる32か所は、令和4年度までに整備予定である。

幡豆地区県有地の開発

Q 県企業庁が新空港建設用土砂確保と造成のために取得した用地が、事業の中止により未開発状態にある。市長の政策としての考えは。

A 企業庁としては当初の計画が頓挫し採算性が見込めないことや保安林、アクセスなど諸課題も残っており、開発に伴う利活用は厳しい状況にある。市としては、今後も企業庁との意見交換や県有地に関心がある事業者との橋渡しなど利活用に向けた取組を行う。

その他の質問

・市民と行政の協働のまちづくりの推進



新しい風
中根

文彦
議員



詳細は
スマホで
チェック!



小学校部活動の今後の在り方は

Q 今年度から部活動の縮減としてシーズン制を取り入れたが効果は。

A 「8月以降をシーズンオフ」にしたことで、子どもたちは自主的な活動の時間が確保でき、興味・関心を持ったことに打ち込む時間に充てることができるようになると考える。

Q 部活動の民間委託について、市はどう考えているか。

A 小学校の部活動を民間委託する考えはないが、小学生がスポーツや文化的活動に親しむ機会を設けていくことについては、民間委託を検討していくことも考えられる。

カーボンニュートラルを見据えた電動化対応策は

Q 自動車の電動化に向けた世間の動向など発信していくことは考えているか。

A 市も国や県の動向を注視し、新

たな方針・施策が打ち出されたら情報発信に努めていく。

Q 公共施設、ショッピングモール、コンビニなどへの急速充電器の設置など市役所全体で基盤整備が必要と考えるが、今後どのように取り組んでいくのか。

A 西尾市はゼロカーボンシティを表明した。今後は、市民や企業を含めてチーム西尾として一丸となって取り組んでいく必要がある。

地域による猫活動について

Q 猫の保護活動を目的とした地域猫の会が設立され「TNR先行型」のさくらねこ無料不妊手術事業を行っているが、市は当該事業に参加する考えはあるか。

A 昨年11月に「公益財団法人どうぶつ基金」の無料不妊手術事業に行政で登録し、地域や団体と協働で取り組んでいく。



一般質問 Q&A



新政令和
本郷 照代 議員

女性消防士を増やすために

Q 女性消防士の人員数、構成比率、近隣自治体と比較してどのようなか。

A 令和3年4月現在1人、0.5%の比率。岡崎市3.4%、豊田市2.6%、衣浦東部広域連合1.6%、幸田町4.8%であり、西三河の中で5番目である。令和6年度までに3%を数値目標として掲げた。

Q 女性消防士を雇用することの課題と対策はどのようなか。

A 女性が利用する施設の整備と職場における労働環境・制度の充実が課題である。現在は本書のみだが、今後、女性消防士の採用と人事異動を考慮し、計画的に施設整備していく。また、女性消防士の身分上や勤務配置上の取扱い、勤務条件などの基本方針を定めて、職域拡大と安心して出産・育児ができる仕組みを設け、男性の意識改革と理解を深めるための教育や啓発を図っていく。



詳細は
スマホで
チェック!



中学校部活動の段階的な地域部活動への移行は

Q 文部科学省では、令和5年度以降、段階的に地域部活動への移行を実施することのだが、本市における検討や取組はどのようなか。

A 教育委員会も検討を始めている。スポーツ振興課・校長会・スポーツ協会なども交えて協議を重ね、令和4年度内には方向性を示していく。

Q 本市はスポーツ都市宣言を行った。今後、子どもたちのスポーツ環境をどのように整備していくか。

A スポーツ施設の新設や統廃合を進める中で、あらゆる世代、あらゆる立場の市民がスポーツに親しめる施設環境の充実を図っていく。今後、市民ニーズに合わせたソフト面の充実のため、スポーツ推進計画にも盛り込んでいきたい。

その他の質問

・子宮頸がんワクチンの定期接種再開に関して、迅速で正確な情報提供と安心の相談体制を



新しい風
小林 孝幸 議員

ふるさと納税の現状と企業版ふるさと納税は

Q 前年度実績と本年度末の見込み件数と総額との比較は。

A 前年度実績は、寄附件数3万786件、寄附金額は5億9735万8400円、本年度末見込みは、寄附件数は8万3千件、寄附金額は15億円を見込んでいる。寄附件数で5万2千件、寄附金額で9億264万円増を見込んでいる。

Q 企業版ふるさと納税の件数と実績は。

A 1月末実績で件数は1社、寄附金額は10万円である。

地方創生の拠点として期待する「道の駅にしお岡ノ山」と幡豆地区の観光は

Q 道の駅にしお岡ノ山の利用者数と売上額は。

A 令和2年度の年間の利用者数は、約49万8千人で売上額は約4億6815万円である。

Q 幡豆地区の観光は今後どのように力を入れていくのか。

A 今後も東幡豆漁協や名鉄、西尾市観光協会と連携し、トンポロ干潟の活用をはじめ、幡豆地区の自然を満喫して貰えるような施策を展開し、誘客を図っていく。

Q 幡豆地区に道の駅建設計画を西尾市発信で計画しないか。

A 道の駅にしお岡ノ山を本市の観光情報発信基地として更に充実させていくため、市内に新たな道の駅を建設する事は今のところ考えていない。幡豆地区を元気にしたい小林議員の思いには大いに共感するところであるが、社会的、経済的な視点から事業性が見いだせるかどうかを見極める事が重要であり、そこがクリアする事が出来れば、ひとつの活性化対策としては魅力的なアイデアであると考えている。



詳細は
スマホで
チェック!



一般質問 Q & A



公明党西尾市議員
大塚 久美子

地域公共交通の活性化とまちづくり

Q 駅周辺整備のため、西幡豆駅と東幡豆駅に待合ができるベンチの設置をしないか。

A 名古屋鉄道とも協議の上、ベンチの設置を検討する。

Q 吉良と幡豆地区のいこまいかーについて、小学校区を中学校区に拡大しないか。

A 需要と供給のバランス、生活圏に応じた移動の確保などの点を総合的に判断し、地域の意見を参考にしながら検討する。

災害時のごみ処理対応

Q 災害廃棄物処理を想定した訓練が必要ではないか。

A 県の研修会等に市職員が参加している。今後は、図上や実地による訓練の必要があると考えるため、方法等を調整していく。



詳細は
スマホで
チェック!



誰も置き去りにしない、人にやさしい取組を

Q マイナンバーカードの取得を希望する人の集まりなどに出向いて、申請手続きを行う出張申請サービスを行わないか。

A 今後は、介護予防の講座や社会福祉協議会主催の集まりの場など希望する団体があれば、出張申請サービスを行なっていく。



Q がん治療に伴う外見（アピアランスケア）に対する支援として、医療用ウィッグや乳房補正具等の購入に係る費用の支援に取り組まないか。

A 愛知県や近隣市町村の動向も踏まえ、支援について実施を検討する。

その他の質問

- ・障がい者手帳アプリ「ミミフイロID」の活用をしないか
- ・生理用品の購入が困難な方に対して、生理用品の無償配布をしないか



自民隆盛会
永山 英人 議員

令和2年国勢調査の結果と活用

Q 西尾市の人口は16万9046人、平成27年調査に比べ1056人、0.6%増加となった。この結果をどう分析しているか。

A 国全体の人口が0.74%減少する中、西尾市は0.62%増加した。しかし県全体の増加率は0.79%、西三河10市町の平均増加率は1.13%で西尾市の増加率を上回っている。人口や産業構造が類似している刈谷市は2.71%、安城市は2.09%と西尾市を大きく上回っているため、楽観視できる状況ではないと考えている。

Q スマートフォンやパソコンを使ったインターネット回答率は何%だったか。

A インターネット回答率は46.3%。今後の課題はインターネット回答専用会場の開設、調査員にタブレット端末を貸与し、調査活動で利用する取組などを検討し、次回は国



詳細は
スマホで
チェック!



が示すチャレンジ目標である50%を達成したい。

健康診査は

Q 胃がん健診では、バリウム検査のほかに胃カメラ検査を加え選択できるようにしないか。

A 本市では、集団検診と人間ドックで、胃カメラによる検査は行っていない。胃カメラによる検査を行うためには、専用の設備、場所、医師および受診体制が必要だが、現在それらの確保ができていない。胃カメラ検査の実施について、今後、調査・研究していく。

Q 胃カメラによる検査について受検者等からの意見や要望は。

A 胃カメラによる検査の実施について一部の方から要望を受けている。バリウム検査の結果、改めて胃カメラによる精密検査が必要になる場合やバリウムを飲むこと自体が体の負担になることが理由である。

一般質問 Q&A



新政令和
松井 晋一郎 議員

コロナ禍における各課題

Q 10代20代の男性を対象に、ファイザー社製ワクチンの予約を受け付けている自治体がある。見解と対応策は。

A モデルナ社製ワクチン接種後、ごくまれに心筋炎・心膜炎を発症した事例報告があり、発症リスクが高いとされる10代20代の男性にはファイザー社製を推奨している。市のコールセンターへ連絡があれば接種できるよう調整する。また、集団接種会場でファイザー社製ワクチン接種枠を設ける予定である。

Q ファイザー社製ワクチン接種の詳細は。

A 2月14日からコールセンターで予約を受け付けている。追加接種はコールセンターで調整し対応。集団接種会場では、接種時間と接種ブースを分けて実施する。

Q コロナ化の影響で、スクールカウンセラー（SC）、スクールソ-



詳細は
スマホで
チェック!



シャルワーカー（SSW）の役割が重要になる。次年度からの配置状況、勤務形態はどうか。

A 市費SCを1人増員し3人とすることで学校からの求めに応じて訪問回数を増やす計画。SSWは1人増員し、4人を計画している。県基準に準じて1人あたり1日5時間程度の勤務、訪問回数は週1回から2回となる。

Q 段階的な専門職の増員が必要と考える。次年度以降の増員計画は。

A 市費SCは、次年度以降も毎年1人ずつ増員を計画。SSWは、2年に1人ずつ増員を計画している。

Q 食品ロス削減対策とコロナ禍の事業者支援を兼ねた、食品ロス削減マッチングサービス「タベスケ」のサイト導入を検討しないか。

A 食品ロス削減、市民の環境運動への参加、飲食店が連携した取組で、環境意識向上を図るため有効と考える。導入自治体の状況を研究し、検証していく。



新しい風
福西 章人 議員

農業の発展と農地保全を

Q 都市計画マスタープランの開発計画区域における農地転用の現状はどうか。

A 令和2年度の西尾市全体の農地転用実績は26㍍（東京ドーム5.5個分）であり、その半分の13㍍が開発計画区域で行われている。主に工場や物流倉庫として転用されている。事業者には隣地所有者や町内会への開発計画の説明を求めている。

Q 農地の保全と開発について市はどのように考えているか。

A 開発による産業の発展を図りながら農地の面的な広がりを保ちつつ、農業環境の保全と発展に努めている。

Q 面的な広がりを保つために具体的にどうするのか。

A 連続した農地を分断することがないように、事業者には辺縁部からの開発を指導している。



詳細は
スマホで
チェック!



未来を見据えた在宅医療への支援体制について

Q 重度化を防止する「介護予防」の取組はどうか。

A 65歳以上のすべての方を対象にした「一般介護予防事業では」脳活塾や「まちの体操教室」を実施している。

Q 在宅介護と在宅医療の連携はどうか。

A 医療・介護機関と市民をつなぐ総合窓口として在宅医療介護連携支援センターを設置している。

Q 将来的な在宅医療の必要性についてはどのような認識をもっているか。

A 地域包括ケアシステムでは、住み慣れた地域で、その人らしく、最期まで生活していくことを目的としており、今後は訪問診療をはじめとする在宅医療へのニーズは、ますます高まると認識している。引き続き医療・介護関係者の連携を充実していく。

一般質問 Q & A



無所属
佐々木 映美 議員

生涯学習施設の利用向上に向けて

Q 生涯学習施設の予約について、インターネットで予約可能にできるように検討しないか。

A 令和4年10月以降、公共施設予約システムについてはパソコンやスマートフォンを介して施設予約ができるようになり、予約後から利用日当日まで施設に行かなくても利用できるような、市民サービスの向上を図っていく。

Q 生涯学習施設の空いている部屋を学習スペースとして無料開放しないか。

A 現在も当日空いている貸室については、1施設につき1部屋を学習スペースとして無料開放している。昨年12月より、施設利用率向上を図るため、当日空いている貸室については、全て学習スペースとして無料開放できるように運営ルールを変更している。



詳細は
スマホで
チェック!



市民が健康で過ごしやすいまちづくりを

Q 平成27年度から行っている健康マイレージ事業についての現状と効果の検証はどのようか。

A 開始時から参加者は年々増加した。コロナの影響で減少してしまっただ。協賛企業については、令和3年度には6つの企業に協力を得ている。また、事業目的の「健康寿命の延伸と健康診査の受診促進」の検証は難しい。本市としては、今後も運動を始める人が少しでも増えることを期待して取り組んでいく。

Q 市民がSDGsに取組やすくなるために、様々な活動に対するポイント制度を導入しないか。

A 現段階では導入予定はないが、SDGsを推進する先進的なツールとして導入している自治体の動向を注視していく。



新政令和
青山 繁 議員

切迫する南海トラフの巨大地震に備え、発災直後の「自助・共助・公助」

Q 「自助・共助・公助」について、どのように捉えているか。

A 発災直後は、自ら守る「自助」とともに「安否確認」「救出・救助」「初期消火」「避難行動要支援者のケア」などは一刻を争い、自主防災組織などの地域コミュニティで「共助」を実践していく必要がある。

Q 安否確認や救出・救助は、顔の見える近隣同士が助け合う「共助」の部分が大きいと思うが、どのように考えているか。

A それらは「共助」における最重要課題と認識し、訓練項目に積極的に取り入れるよう、自主防災会長会議等で要請していく。また「共助」を実践してもらうため、防災リーダーの育成に努めていきたい。

Q 家屋が密集している中心市街地で火災が発生した場合、初期消火が大変重要と考えるが、どのような対策を進めているか。



詳細は
スマホで
チェック!



A 周りの方は、自宅や町内会、自主防災会などで備えている消火器を使用し「共助」として、初期消火活動をしてもらいたい。

Q 発災後は、機別消防団と自主防災会の緊密な連携が重要だが、どのようにサポートしているか。

A 初めての試みとして、両者の合同による災害対応図上訓練を実施した。災害時の対応を共有するなど、お互い顔の見える関係を構築することができ、今後もこのような機会を設けてサポートしていきたい。

消えかかっている「横断歩道」「止まれ」「外側線」等の路面標示の鮮明化は

Q 一定の塗り直し基準を設け、市内全域の路面標示の塗り直しを計画的に進めていかないか。

A 基準について、視認性の良否によるランク付けなど検討したい。引き続き、市民からの情報提供や町内会からの要望等により現状を把握し、見えづらくなっている箇所を優先的に再塗装していく。

一般質問 Q & A



無所属
杉浦 功記

功記 議員

子どもに自由な学校選択を

Q 西尾市には、子どもや保護者が学校を選択できる制度はあるか。

A 市が学校を指定しており選択制度はないが、相当の理由がある場合は指定学校以外に通学できる。

Q その審査基準はどのようか。

A 身体的理由、教育的配慮、地理的理由などがある。

Q 文科省は部活動を理由とする指定学校変更を「認められてよい」事由と示している。それを採用している近隣市もあるが、西尾市はどうか。

A 部活動による変更は認めていないが、他市の事例を参考に調査・研究中。

Q 地理的理由により指定学校の変更を認めている事例はあるか。

A 児童の身体的負担軽減を考慮し、米津小学校区などで認めている。

Q 一色西部・中部地区から、一色中学校までの距離は5キロ程。一方、隣接する寺津中学校や福地中学校ま



詳細は
スマホで
チェック!



では2・5キロ程と半分になる。このような場合、「通学距離が短いこと」を理由に、指定学校変更を認めた事例はあるか。ない場合、そう判断した具体的な基準は。

A 距離が短いことだけでは変更を許可しておらず、認めた事例はない。

Q 市ホームページ掲載の許可基準には「距離が短いことだけでは指定学校変更の許可をしない」との記載はなく、「指定された学校よりも隣接校の方が、通学距離が極めて短く、通学の安全上支障がない場合」とある。子どもの意思を尊重した上で、距離基準などを設けて「通学距離が短いこと」を理由に指定学校を変更できるように柔軟に対応しないか。

A 一律に距離基準を設けることは困難だが、通学距離だけでなく、通学時間や個々の事情を考慮し対応している。

Q 指定学校を変えたいと思ったら、教育委員会へ相談すればよいか。

A 相談に応じる。



日本共産党西尾市議員
前田 修



詳細は
スマホで
チェック!



西尾市DX推進計画とは

Q 政府は、自治体が保有する個人情報をもとに特定の企業が利用できることを成長戦略だとしている。市の基幹システムを国の標準システムに統一することで懸念されることは。

A 令和7年度までに全国共通のシステムに移行するが、個人情報保護の取り扱いが変わらず問題ない。

Q 全国共通のシステムに統合したら、西尾市独自のサービスが切り下げられることになるがどうか。

A 市独自のサービスを行っていくには、システムをカスタマイズすることになり経費が必要となる。

Q 政府関係者は、デジタル化で窓口の廃止も可能だと発言しているが、デジタル格差のない安心で便利な市役所・支所こそ大事ではないか。

A 「デジタル格差解消への取組」を明記した、西尾市DXアクションプランを年度内に策定し、公開する。

中小企業振興条例の制定を

Q 多くの自治体で、中小企業振興条例を制定し、中小企業との座談会の定期開催や、振興計画を策定するなど実効ある条例が制定されている。西尾市も実施しないか。

A 新年度のビジネス支援拠点の準備とともに進めていきたい。

障がい者の基幹相談支援センターを

Q 障がい者の総合的・専門的な相談支援を行い、地域の中核的な機能を担う基幹相談支援センターを設置しないか。

A 相談支援は、市内3法人が障害種別に専門的な相談支援を行っている。現状の枠組みを活用し、連携型のセンターの設置に向け協議していく。

一般質問 Q & A



無所属
鈴木 規子
議員

増加する不登校の子どもたちへの対策

Q 不登校の子どもたちは増える一方だが、どれほどか。要因はどうか。

A 小学校は令和3年1月で118人。中学校では令和元年が232人で、令和3年は303人。学年をまたぐ欠席者は小学生で50人、中学生が約150人である。明確な要因を特定できず苦慮している。

Q 学校の別室への登校や夕方登校、あゆみ学級への通学などの状況はどうか。

A 別室登校は小学生40人、中学生は107人。夕方登校は、それぞれ26人と54人である。あゆみ学級は47人の登録がある。

Q 文科省は令和元年、学校復帰を前提とした支援方針を見直し、フリースクールを子どもたちの居場所として出席と認めるなど選択肢を増やすとした。本市の状況はどうか。

A 本市のフリースクール通学者は複数いる。岡崎市のフリースクールは教育課程も信頼に足り、出席と認

める判断をしている。

Q 名古屋市や岡崎市では、学校内フリースクールの形態で「クラス」があり、岡崎市では8中学校に増えている。専従教員の配置も含め、別室登校の形の充実を考えないか。

A 本市では、通常のクラスに通えるようになるための別室登校として、空き時間のある教員が交代で対応している。担任を置くには市費が必要。教員数が足りない。

Q 子ども若者総合相談センター「コンパス」には保護者や子どもからの相談もあると聞く。連携はどうか。

A コンパスでは、毎月スクールカウンセラーやあゆみ学級、教育委員会と実務者会議を開き、連携を図り、情報共有を行っている。

Q 不登校問題だけでなく、子どもたちの支援は学習面、身体面とも増加し、教員への支援も喫緊の課題である。本市でも学校教育センター設置に本腰を入れないか。

A その重要性は十分認識している。令和9年に供用開始予定の「生涯学習センター」に総合教育センター的な機能を持たせたい。



詳細は
スマホで
チェック!



無所属
中村 眞一
議員

投げ出されたPFI事業 見直し問題

Q 旧一色町役場跡地の売却交渉は誰が、どのように行ったのか。

A どのような手法が妥当か検討している。検討内容は、今後に支障を来すので、答弁は差し控える。

Q 一色の方々が作成した報告書を市の方針として採用しておき、一方で全く違う計画の検討をしているのは、どういった理由からか。

A 報告書は重く受け止めているが、数年経ち、社会情勢が変わった。

Q 一色町役場跡地に温水プールを検討するなら、将来の財政負担が少なくなる寺津小・中学校敷地内の整備は実現不可能と考えたのか。

A 駐車場の確保を含め、結論ありきで進んでおり、無理がある。

Q 一方的な契約解除の可否について、なぜ内閣府へ確認をしないのか。

A 民法の解除権を行使することで、内閣府も否定するものではないので確認はしない。

Q 内閣府と相談していないのに、なぜ、そのようなことが言えるのか。

A 市が解除の根拠としているのは、民法なので、内閣府の言っていることと同じだ。

Q 想定損害賠償額は市の代理人か、または、第三者が試算したのか。

A 試算は、弁護士と職員で行った。

Q 平成30、31年度分の増加費用、約8千200万円を支払う際、「今後、市が支払うものはない」と答弁されたが、間違いはないか。

A 工事一時中止に伴う吉良支所と一色支所関係の増加費用はない。

Q 吉良支所棟の遅延損害金訴訟で、支払い命令が出るようなことはないと考えているのか。

A 答弁は差し控える。

Q 一方的な解除によって訴訟となり、莫大な損害賠償が発生した場合、誰がどのように責任を取るのか。

A 我々の主張が認められない場合は、反省すべき点がある。

Q 今回の一方的な解除は解除を訴えて当選したから「民意」なのか。

A 選挙に契約解除を掲げて民意を得た。



詳細は
スマホで
チェック!



一般質問 Q & A



西尾みらい
山本 道代 議員

スポーツ・健康まちなり

Q 障がい者スポーツをどのように考えているか。また、県と連携して推進していかないか。

A 障がいをを持った人でも健常者でも平等にスポーツを楽しめるよう、今後は、スポーツ推進委員の協力を得てポッチャを推進していく。令和4年度、市内に開校する特別支援学校の学校開放を含め、県内の担当者や社会福祉協議会、西尾スポーツ協会と連携を図っていく。

口腔の健康と全身の健康

Q 歯科健診の受診率向上での取組や現状は。

A 20歳以上対象の歯科健診は、西尾市歯科医師会に加入の歯科医院が無料で行っている。広報や市ホームページで周知し、20歳と30歳、40歳、50歳、60歳、70歳、76歳に案内を送



詳細は
スマホで
チェック!



り、令和3年度は西尾市公式LINEアカウントを使って受診勧奨した。幼少期から定期検診をすることで、虫歯予防や生活習慣予防となり、医療費の削減につながる。積極的に口腔ケアを取り入れないか。

A 1歳から3歳児は半年ごとに歯科検診を実施し、その際に歯科衛生士によるフッ素塗布を行いながら、かかりつけ医を持つことの重要性を伝えている。そのほか、虫歯予防を目的にフッ素溶液でうがいをするフッ素洗口を市内38園の年長児の希望者に対し実施している。

デジタル社会における子育て支援は

Q 母子手帳アプリの導入を考えたか。

A 市ホームページに掲載しているほか、特定なものは個別通知で知らせている。無料アプリ「マチイロ」を活用すれば、自治体情報を閲覧することも可能であるため、現時点では活用することは考えていない。



新政令和
中村 直行 議員

「地域防災」に対する取組は

Q 家庭での食料品備蓄の普及に向けた取組や市民への周知、情報発信する上での工夫はあるか。

A 家庭での食料品の備蓄の周知については、救援物資が届くまで時間がかかる場合があるため、ハザードマップ、ホームページ、広報などで水や食料品を1週間分備蓄して欲しい旨を周知している。また、防災カレッジ、災害クッキング講座、出前講座など市民に直接伝える機会にて、具体的な備蓄の方法などを周知している。

西尾城址周辺の活性化を

Q 西尾城址に対する景観保護や町並み保存の具体的な考え方はどのようか。

A 「西尾城跡保存活用計画」に基づき、今も残る石垣や土塁などの保存



詳細は
スマホで
チェック!



を進め、西尾城が整備された江戸時代前期の景観を体感できるよう、天守台から本丸丑寅櫓の見通しを遮る樹木の剪定や伐採をする。また、現在は残っていない土塁や櫓、門などを可能な範囲で復元していくことも検討していく。

Q 観光振興や美しい町並みを形成するため、西尾市歴史公園周辺の電線の地中化を図らないか。

A 西尾城二之丸跡北側県道の電線の地中化は、美しい町並み形成に効果があるものと考えている。県道の電線地中化を進めるには県の協力が不可欠で、今後の二之丸跡地内および周辺の整備の状況を踏まえた上で、関係部局と調整していく。

Q 天守閣の建設および城内整備の計画についての考えはどのようか。

A 天守閣の建設は、今後30年以内の建設を目指し、寄附金で賄う。

その他の質問

・離島における新型コロナウイルス感染症対策について

一般質問 Q & A



日本共産党西尾市議員
牧野 次郎 議員

新型コロナウイルス感染症の影響から子どもを守るために

Q 保育園・幼稚園・児童クラブ・学校の発生状況はどうか。

A 1月から2月15日までの感染者数は、学校で1027人、学年閉鎖は小学校4校、中学校1校、義務教育学校1校。学級閉鎖は小学校19校、中学校3校。保育園、幼稚園では369人、休園は16園、幼稚園3園、学年クラス閉鎖は、保育園11園、幼稚園4園で1月末から減少傾向だった。症状は、軽症か無症状で、濃厚接触者の特定は、学校では1人もなく、保育園・幼稚園は215人である。

Q 検査はどうしているか。

A 抗原検査キットは学校・保育園・幼稚園の配布は考えてない。必要な場合は保健所と相談し対応する。

Q 学級閉鎖や新型コロナウイルス感染者へのオンライン授業はどのようか。

A Wi-Fi環境を整え、オンラインの双方向の授業など、3月から

可能となっている。

新型コロナウイルス感染症への不安軽減を

Q 感染が疑われた時の、受診や検査の1層の周知をしないか。

A 保健所業務が逼迫し、早急な対応ができていない状況は認識している。受診や検査は、市のホームページで確認してほしい。チラシ配布などは考えていない。

Q 保健所業務が逼迫しているが、感染者や濃厚接触者の電話相談を受けるように対応をしないか。

A 市は直接的に対応できない。市ホームページで「新型コロナウイルス感染症になつたら」の情報提供をしている。健康課に多く問い合わせはあるが、電話相談設置は考えてない。

Q 医療機関などで、感染判明したら、自宅療養の「生活のしおり」を渡せないか。

A 買い物代行支援の際に渡している。なお、市ホームページに掲載している。



詳細は
スマホで
チェック!



新しい風
牧 一心 議員

循環型社会の実現に向けて

Q 農林水産省がCO₂ゼロエミッション化と、有機農業における目標を掲げて「みどりの食料システム戦略」を策定した。本市ではどのように検討しているか。

A 省エネ施設・機械の導入を推進する。本市の有機農業の取組面積は約0.9haである。目標については、有機農業はその手法が普及していないことと、流通コストや生産性を考慮すると積極的な推奨は現時点では考えていない。

Q 環境負荷の軽減を進めるために持続型の農業を推進するためにも、地域独自の表示制度を作ることを検討しないか。

A 優位性が不明確であるため、現状は考えていない。

Q 耕畜連携による飼料と畜産堆肥の循環を推進する事業の目標はどのようか。また、飼料用米の取組はどのようか。

A 畜産農家で生産される堆肥を利用し、化学肥料を低減した循環型農業の形成を進めていく。飼料用米の作付面積は令和3年度は65.6haであり、令和5年70ha、長期計画では96haを目標としている。

Q 農業における人手不足解消と、新規就農者を募るために農家と農業ボランティアを結ぶマッチング制度を検討しないか。

A 作目、時期によっては人手不足となる農作業があることから、農家の意向を聞き取り、調査・研究する。

Q スマート農業の推進に対する市の考えはどのようか。

A 田や県の補助メニューを積極的に取り入れ推進していきたい。

Q 使用済み紙おむつの再生利用を検討しないか。

A 分別収集は行政ができるとしても、処理については民間事業者との連携が必要となるので、今後調査・検討する。



詳細は
スマホで
チェック!



その他の質問

・住民基本台帳におけるDV等支援措置の制度利用について

¥ 予算審査

令和4年度当初予算と事業に関する審査

予算とは地方公共団体の収入や支出の見積もりで、行政サービスの内容を示す重要な計画です。3月定例会の3月2日に令和4年度当初予算が議案上程され、慎重・審議されました。その当初予算案は、予算決算委員会に付託されました。その後4つの分科会に振り分けられ、詳細に令和4年度予算や事業について審査を行いました。

ここでは、主な審査内容についてピックアップしてご紹介します。



厚生分科会

Q 市民病院の医業収益が増加している理由は。

A 令和3年度は、令和2年度と比較すると入院・通院とも患者数も診療単価も増加しており、要因は、コロナ禍での受診控えで症状が悪化してから受診する方が多く、単価が高くなったためである。医師数の増加も収益への要因となっている。

Q 藤田医科大学の開院による影響は。

A 影響は明確には分からないが、岡崎・幸田からの救急車搬送件数が、開院前は毎月20件から30件あったものが5件程度になっている。

Q 病院会計に対し一般会計からの繰り出し金はどのようか。

A 不採算医療につながる経費として、国の基準に基づき15億5千万円ほどを繰り出している。また、政策的経費の他、資本的収支の不足分、約3億7千万円を計上している。

Q 総合福祉センターの予算増額理由は。

A エレベーターの改修工事で7200万円を計上している。施設内2基と立体駐車場1基が老朽化し、取替工事を行う。

Q 障がい者相談支援事業の増額理由は。

A 市内3事業所に、身体・知的・精神障害の相談事業を委託している。年々、相談件数が増加し人員体制の強化が必要となっている。

Q 市外特別支援学校送迎支援事業の委託料の内容はどのようか。

A 岡崎のろう学校・盲学校に通う障害児を毎日送迎する保護者の負担を軽減するための送迎バスを予算計上した。しかし、愛知県が令和4年度からスクールバスの運行が予定されたことで、予算執行はしない予定である。

文教分科会

Q 矢田保育園移転新築事業が進められているが、3歳未満児の保育ニーズが高まることを見越してとあるが、内容はどのようか。

A 令和7年度から保護者の就労時間の基準を月90時間から60時間に見直すことにより、増加を見込んでいる。

Q 子ども食堂に対する補助金について、近隣市の状況はどのようか。

A 子ども食堂に対する補助金を実施しているのは、豊田市と本市のみである。本市の補助金は、近隣市と比較しても手厚い内容となっている。

Q 子ども・若者育成支援事業の内容と期待する効果はどのようか。

A 不登校やひきこもりなどの社会的な自立が困難な子ども・若者および保護者などに対する包括的な支援を行う。SNSを活用して、幅広い悩みや相談を受け付けるコンパスならではの特色を生かし、相談や支援が停滞しないよう、1人でも多くの子ども・若者が社会的自立の見通しが立つことを期待している。

Q 小学校コンピュータ管理事業の増加理由は。

A GIGAスクールで整備した1人1台のタブレット端末から印刷するためのプリンターとオンライン授業などでタブレット端末を固定して撮影するための三脚の購入費、職員向けの研修業務委託料、一色・吉良・幡豆地区の大型モニターの更新などである。

Q 図書購入事業の増加理由は。

A 読書通帳の導入により、子どもや親子での利用が増加していることから、絵本や紙芝居などの子ども向けの蔵書を増やしていくためである。

Q 西尾城大手門跡整備の事業内容と期待する効果はどのようか。

A 錦城町と幸町にまたがる旧吉見邸跡の市有地で、堀跡や大手門跡の一部などの復元を行う予定である。城下町散策の拠点や広く市民に親しまれる観光交流拠点として整備を目指す。



¥ 予算審査

経済建設分科会

Q 雑がみ分別袋作成業務委託料の袋の形状など詳細はどのようなか。

A 印刷費221万4千円、配送料153万円等、合計418万3千円。資源物として分別できることを周知徹底するため、幅30cm、マチ21cm、高さ45cmの手提げ袋を全世帯に配布する。令和8年度、約600トンの回収を見込んでいる。

Q 佐久島の釣りセンター棧橋撤去費が計上されているが、撤去後の予定はどのようなか。

A 離島振興として、環境教育にふさわしい場所と考え、安全に学習や観光ができるように整備していく。

Q 名鉄西尾・蒲郡線利用促進業務委託料700万円の内容と前年度より増額の理由はどのようなか。

A 新たに貸切り列車の運行や副駅名を付ける取組を予定しており、利用者増加、話題性、PR活動効果を期待している。



Q ジャパンフィルムコミッション負担金の効果はどのようなか。

A 国内最大のロケ地の見本市「全国ロケ地フェア」に出展可能となり、市の魅力あるロケーションのPRができ、ロケ地誘致の機会が増加し、映画やテレビCM等への使用が期待できる。

Q 道路維持改修事業(町内会)の状況はどのようなか。

A 舗装の穴埋め年間委託をやめ、職員によるパトロールに切り替えたことにより、前年度対比1千660万円余減額となった。また、町内会からの要望達成率は50%程度を見込んでいる。

Q 上水道費用のうち、佐久島海水淡水化業務の詳細はどのようなか。

A 「佐久島への給水方式は、現在の海底送水管の布設替えと島独自の海水淡水化施設の導入とが考えられ、先の海水の水質分析等基礎調査を踏まえ、施設の基本設計や生態系影響調査を行う。



企画総務分科会

Q 消防本部・消防署庁舎改修事業について、特に特化した改修は。

A 改修計画として、令和5年度に仮眠室個室化工事、令和6年度に高機能消防指令システム更新工事、令和6・7年度の2カ年で大規模改修工事の3つを進めていきたい。

Q 災害用トイレ整備事業で、西尾小学校、福地北部小学校、寺津小学校、それぞれ何基設置するのか。

A 各校、一般用が8基、身障者用2基の計10基設置する。

Q 女性消防士への配慮は。

A 更衣室を兼ねた女性用仮眠室が1部屋あるが、将来の増員に備えて仮眠室を増設したい。また、洗濯室など男性消防士と共用する施設は、新たに女性用を設けるとともに動線に配慮した配置を検討する。



Q 自主防災会訓練補助金450万円の計画補助件数と前年度のコロナ禍における訓練状況は。

A 計画補助件数は195件。訓練状況は、令和元年度とコロナ禍となる令和2年度、3年度見込みと比較すると件数、補助金額ともに約6割減っている。

Q ご当地ナンバーデザイン作成業務35万7千円の内容、今後のスケジュールは。

A 西尾市オリジナルの図柄を背景にした原動機付自転車の課税標識を、令和5年度に作成し、希望者に交付する。4年度は候補となるデザイン案の作成を委託する。令和5年3月に住民投票で一つのデザインを決め、7月に交付開始を予定。

Q 市役所ウェディング業務委託料100万円の事業詳細、費用分担区分、計画組数、PR・告知方法は。

A コロナ禍で挙式ができなかった夫婦に場を提供する事業で、誓いの儀式、記念撮影等を予定。ノウハウが豊富な事業者へ委託、会場は議場を予定。秋・冬に2組を予定。夫婦の費用負担はない。募集は広報、ホームページ・西尾市公式LINE等でPRする。

審議結果

01 / 2月臨時会で審議され可決された議案等

条例など	専決処分の承認について 西尾市公共施設再配置事業第1次プロジェクトにおける契約解除に関する意見書
------	---

02 / 3月定例会で審議され可決された議案等

- ★副市長に、山口瑠美子氏を選任することに同意しました。
- ★固定資産評価審査委員会委員に、廣瀬成隆氏、森島一秋氏、内田修二氏を選任することに同意しました。
- ★教育委員会教育長に、稲垣 寿氏の任命に同意しました。

条例など	西尾市上下水道事業の企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の制定について	可決
	西尾市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	
	西尾市附属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
	西尾市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
	西尾市企業立地の促進等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
	西尾市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	
	西尾市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	
	西尾市子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
	西尾市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	
	西尾市道路占用料条例の一部を改正する条例の制定について	
	西尾市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
	西尾市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
	西尾市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	
	西尾市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	
	西尾市青少年問題協議会条例を廃止する条例の制定について	
	市道路線の廃止について	
	市道路線の認定について	
	西尾市一色町公民館の指定管理者の指定について	
	西尾市一色地域交流センターの指定管理者の指定について	
	西尾市資料館の指定管理者の指定について	
	西尾市立一色学びの館の指定管理者の指定について	
	西尾市子育て・多世代交流プラザの指定管理者の指定について	
	西尾市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
西尾市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について		
西尾市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について		
インボイス制度導入後もシルバー人材センターの安定的な事業運営が可能となる特別措置の実施を求める意見書		
ロシアによるウクライナへの侵攻に抗議する決議		
令和3年度 補正予算	令和3年度西尾市一般会計補正予算(第11号)	
	令和3年度西尾市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	
	令和3年度西尾市介護保険特別会計補正予算(第4号)	
	令和3年度西尾市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	
	令和3年度西尾市水道事業会計補正予算(第2号)	
	令和3年度西尾市下水道事業会計補正予算(第1号)	
	令和3年度西尾市一般会計補正予算(第12号)	
令和4年度 当初予算	令和4年度西尾市一般会計予算	
	令和4年度西尾市国民健康保険特別会計予算	
	令和4年度西尾市介護保険特別会計予算	
	令和4年度西尾市後期高齢者医療特別会計予算	
	令和4年度西尾市佐久島診療所事業特別会計予算	
	令和4年度西尾市病院事業会計予算	
	令和4年度西尾市水道事業会計予算	
	令和4年度西尾市下水道事業会計予算	
	令和4年度西尾市渡船事業会計予算	
令和4年度 補正予算	令和4年度西尾市一般会計補正予算(第1号)	

03 / 3月定例会に提出された陳情書

請願書	インボイス制度導入後もシルバー人材センターの安定的な事業運営が可能となる特別措置の実施を求める請願書	採 択
陳情書	バスケットリング・3×3コート設置についての陳情書	趣旨採択

お知らせ

次回6月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
5/29	30 議会運営 委員会	31	6/1	2 本会議 予算決算 委員会	3 本会議	4
5	6 本会議	7 本会議 (予備日)	8	9 厚生 委員会 ・分科会	10 文教 委員会 ・分科会	11
12	13 経済建設 委員会 ・分科会	14 企画総務 委員会 ・分科会	15	16 予算決算 委員会	17 議会運営 委員会	18
19	20	21	22 本会議	23	24	25

会議は通常 10 時開会です。

※予定は変更になる場合があります。

議会を聴く

西尾市議会は、「開かれた議会」を目指し、議会を公開しています。傍聴をご希望の方は、議会開催日に議会事務局(6階)までお越しください。

- ・議場での傍聴………本会議
- ・委員会室での傍聴…常任委員会、議会運営委員会、特別委員会、全員協議会、部会

表紙の写真

タイトル ハナショウブ見ごろ…。

撮影者 小久江 正博様 (上町)

写真の説明 「西尾いきものふれあいの里」ハナショウブ。
撮影にあたり、梅雨の晴れ間の強い日差しを浴びると
花弁がしなびるので、雨の日や早朝が狙い目ですね。

📷 表紙に掲載する写真を募集します

「にしお市議会だより」は市民の皆さまにより身近に感じていただくため、表紙に掲載する写真を募集します。テーマは「あなたが好きな西尾のこんなところ」です。撮影された方のお名前・作品タイトルなどを裏表紙で紹介させていただきます。応募にかかる詳細については、議会事務局 (Tel.65-2182) にお問い合わせください。次号は、あなたの写真が表紙を飾るかもしれません。ぜひご応募ください。

議場見学をしませんか？

町内会などの行事、ご家族、ご友人同士でお誘いあわせの上、お気軽にお越しください。詳しくは、議会事務局 (Tel.65-2182) へお問い合わせください。



議会を見る

放送チャンネル

ケーブルテレビ「キャッチネットワーク」
地上デジタル 112ch

6月定例会放映日時

6月 8日 (水) (6月3日一般質問)

6月10日 (金) (6月6日一般質問)

6月27日 (月) (6月7日予備日)

※いずれも10時からです。

これまでキャッチネットワークの地上デジタル11ch(111ch)にて放送していました議会放送は、2022年6月定例会分より地上デジタル11chのサブチャンネル(112ch)に放送チャンネルを移行しました。

詳しくはキャッチネットワークまでお問い合わせください。

TEL:0120-2-39391(フリーコール)
受付9時~19時

インターネットで議会を見てみよう

西尾市ホームページまたは
右記QRコードからアクセス
できます。



音訳版・点字版のにしお市議会だより

目が不自由な方などのために、音訳版・点字版のにしお市議会だよりを作成し、お渡ししています。希望者は市社会福祉協議会へお問い合わせください。音訳版は市ホームページで公開しています。

市社会福祉協議会 (☎56・5900/総合福祉センター内)
問福祉課 (☎65・2113)

